

2014 ワクチントーク全国集会

子宮頸がんワクチンでの重篤な副作用が被害者の訴えで明らかになり、大きな社会問題となっています。子宮頸がんワクチンだけでなく、乳児期に接種すべきとされるワクチンが増加したことにより、重篤な副作用が発生しています。

これらの細胞培養型のワクチンは、大量生産が可能なおかげで、これまでのワクチンとはけた違いの接種がされており、重い副作用の発生も報告されています。

本当に全部のワクチンを打たなければならないのかを、皆さまと一緒にじっくりと考えてみたいと思います。

ぜひ、多くの皆さまにご参加いただきますようお願いいたします。

日時 2014 年 7 月 6 日(日) 午後 1 時半~4 時半

場所 明治大学リバティータワー 1165 教室(100 名)

東京都千代田区神田駿河台 1-1 (最寄駅) JR・地下鉄御茶ノ水駅

資料代 1000 円

テーマ **子宮頸がんワクチンからみえた予防接種の問題点**

第 1 部 予防接種の現状はどうなっているの？

高木 泰子さん「予防接種と診療現場」

青野 典子さん「こんなにある副作用報告」

古賀 真子さん「新しいワクチンと制度の問題点」

第 2 部 増え続けるワクチンにどう対応すべきか

母里 啓子さん「ワクチンの選び方、考え方」

第 3 部 被害者からの報告

DPT、子宮頸がん、MMR

栗原 敦さん「被害の救済制度について」

第 4 部 予防接種 Q&A



*予約不要、保育はありませんが、お子様連れ歓迎です。

連絡先：ワクチントーク全国事務局 青い保育園内 青野 Tel : 03-3777-1946
古賀 Tel : 090-2470-5256